

イテリメン語におけるロシア語由来の動詞¹

小野 智香子

キーワード：イテリメン語 ロシア語 動詞 借用 自他

0. はじめに

イテリメン語（チュクチ・カムチャツカ諸語）には多くのロシア語由来の語が存在し、先行研究において報告がなされている（Володин 1976, Georg & Volodin 1999, 小野 2016）。本稿ではイテリメン語北部方言におけるロシア語由来の動詞の特徴について述べる。本稿におけるイテリメン語の例は全て筆者のフィールド調査（ロシア連邦カムチャツカ地方チギリ地区）によって得られたデータに基づく。

第1節では他動詞、第2節では自動詞を、第3節では動詞以外（名詞・副詞など）のロシア語借用語由来の動詞、第4節ではロシア語の動詞不定形の借用と補助動詞を用いた構造について取り上げる。

1. 他動詞

ロシア語由来の他動詞は、ロシア語の動詞語幹の音形がほぼそのままの形で借用されている。表1にロシア語からイテリメン語に借用された他動詞の例を挙げる。

表1. ロシア語から借用された他動詞

イテリメン語動詞語幹	ロシア語動詞語幹	意味
<i>cisti</i>	cisti (чисти-ть)	～をきれいにする、～の皮を剥く
<i>risowa</i>	risowa (рисова-ть)	～を描く
<i>stira</i>	st'ira (стира-ть)	～を洗濯する
<i>l'eci</i>	l'eci (лечи-ть)	～を治す、治療する
<i>d'eli</i>	d'eli (дели-ть)	～を分ける
<i>refi</i>	refi (реши-ть)	～を決める
<i>zapasa</i>	zapasa (запаса-ть)	～を蓄える

¹ 本稿は次の助成金による研究成果の一部である：日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究(B)「シベリア先住民諸語の方言に関する基礎的研究と語彙データベース構築」(2020～2023年度, #20H01260, 研究代表者：永山ゆかり)；NSF #BCS-1263668, Collaborative Research: Comprehensive Itelmen [itl] Dictionary.; NSF #BCS-1065619, Integrated Audio-Visual Documentation of Itelmen.

ロシア語から借用された他動詞は、イテリメン語の他動詞と同様の活用をする。(1)は定動詞形の例であるが、ロシア語からの借用語である *cisti* 「皮を剥く」が *axt* 「取る」、*ləm* 「洗う」といったイテリメン語固有の動詞と同じ活用 (*n...-nen* : 直説法 3 人称複数主語・3 人称単数目的語) をしていることがわかる。

(1) *repa* *n-axt-at-ez-nen,* *n-ləm-zo-at-ez-nen,*
 カブ.SG.ABS IND.3PL-取る-HAB-PRES-3>3SG IND.3PL-洗う-DUR-HAB-PRES-3>3SG
n-cisti-at-ez-nen.

IND.3PL-皮を剥く-HAB-PRES-3>3SG

「彼らはカブを（土から）抜き、よく洗い、皮を剥く。」

(2)に希求法 2 人称の例を挙げる。これもロシア語由来の *stira* 「洗濯する」がイテリメン語動詞の *anni* 「広げる」、*ləm* 「洗う」と同じ形態 (*q...-x*) を取っていることがわかる。

(2) *kij-enk* *enu* *q'-anni-x,* *q-stira-x,* *q'-ləm-x.*
 川-SG.LOC それ.SG.ABS OPT.2-広げる-OPT.2SG OPT.2-洗濯する-OPT.2SG OPT.2-広げる-OPT.2SG
 「川でそれを広げなさい、洗濯しなさい、洗いなさい。」

定動詞形以外の動詞の形態も、イテリメン語固有の動詞と同じ形態をとる。以下の(3)～(5)を参照されたい。

(3) 形動詞形：*k...-ʔa(ʔ)n*

a. *itχ* *ne* *k-stira-ʔaʔn.*
 3PL.ABS INDR AP-洗濯する-AP.PL

「それらは洗濯された。」

b. *niwnil* *noz-eʔn* *k-sk-ʔaʔn* *txin* *tyeank* *qsχ-aʔnk.*
 たくさん 干し魚-PL.ABS AP-作る-AP.PL 3PL 3PL.DAT 犬-PL.DAT

「たくさんさんの干し魚が彼らと犬たちに作られた。」

(4) 不定形：*-(e)s*

a. *kma* *qaʔta* *t-k'e-Ø-Ø-kicen* *itχ* *stira-s.*
 1SG.ABS すでに IND.1SG-慣れる-NDUR-PST-1 3PL.ABS 洗濯する-INF

「私はもうそれらを洗濯することに慣れた。」

b. *k-ənzʉ-ʔin* *txin na* *tala-s*.
 AP-始める-AP.SG 3PL 3SG.ABS 叩く-INF

「彼らは彼を叩き始めた。」

(5) 否定: *qaʔm* .. -*q*

a. *qaʔm i əŋqa saq pokrytie stʉira-q*
 NEG そして 何.SG.ABS どんな カバー(RUS).SG.ABS 洗濯する-NEG

Ø-it-Ø-Ø-nen.

IND.3SG-AUX-NDUR-PST-3>3SG

「何も、どんなカバーも洗濯しなかった。」

b. *qenu qaʔm əŋqa ska-q Ø-it-qu-Ø-nen*.
 多分 NEG 何.SG.ABS する-NEG IND.3SG-AUX-DUR-PST-3>3SG

「多分何もしなかった。」

(3)の形動詞形 (*k-stʉira-ʔaʔn*, *k-sk-ʔaʔn*)、(4)の不定形 (*stʉira-s*, *tala-s*)、(5)の否定 (*stʉira-q*, *ska-q*) のように、ロシア語由来の動詞 *stʉira* 「洗濯する」は全てイテリメン語固有の動詞と同様の形態を取っている、すなわち *stʉira* はイテリメン語として振舞っていることがわかる。

2. 自動詞

自動詞の場合は、他動詞と少々異なる。すなわち、ロシア語由来の他動詞語幹に *-ʔ* という接尾辞をつけて他動詞を自動詞化する。表2に自動詞化された動詞の例を挙げる。

表2. ロシア語から借用された他動詞の自動詞化

ロシア語動詞語幹	他動詞	自動詞	意味
<i>cisti</i> (чисти-ть)	<i>cistʉ</i>	<i>cistʉ-ʔ</i>	きれいにする、皮を剥く
<i>pecʉ</i> (печь)	<i>pece</i>	<i>pece-ʔ</i>	焼く
<i>risowa</i> (рисова-ть)	<i>risowa</i>	<i>risowa-ʔ</i>	描く
<i>stʉira</i> (стира-ть)	<i>stʉira</i>	<i>stʉira-ʔ</i>	洗濯する
<i>lʉeci</i> (лечи-ть)	<i>lʉeci</i>	<i>lʉeci-ʔ</i>	治す
(参考: イテリメン語)	<i>keli</i>	<i>keli-ʔ</i>	書く

接尾辞 *-ʔ* を付加して他動詞語幹を自動詞化するのはロシア語由来の動詞に限ったことではなく、*keli-ʔ* 「書く、書き物をする (自)」 < *keli* 「～を書く (他)」のように、もともとイテリメン語に

において生産的な派生法である（目的語削除・逆受動型）。従ってロシア語から借用された他動詞が自動詞化される際も、イテリメン語と同様の振る舞いをしていることが観察される。(6)は *stira* 「～を洗濯する」（他）、*stira-ʔl* 「洗濯する」（自）、(7)は *veci* 「～を治す」（他）、*veci-ʔl* 「治す」（自）の例である。

(6) a. *əzank t-stira-t-Ø-es-ceʔn* *panja-ʔn.* (他動詞)

外で IND.1SG-洗濯する-ITER-NDUR-PRES-1>3PL タイツ-PL.ABS

「私は外で何度かタイツを洗濯している。」

b. *t-stira-ʔl-Ø-Ø-kicen,* *t'-ənt'aŋna-Ø-Ø-ceʔn* *panja-ʔn.* (自動詞)

IND.1SG-洗濯する-ANTIP-NDUR-PST-1 IND.1SG-掛ける-NDUR-PST-1>3PL タイツ-PL.ABS

「私は洗濯し、タイツを掛けた。」

(7) a. *ujik t'-veci-qzu-Ø-cen,* *tinu-l t'-veci-Ø-Ø-cen.* (他動詞)

体.SG.ABS IND.1SG-治す-DUR-PST-1>3SG これ-INST IND.1SG-治す-NDUR-PST-3>3SG

「私は体を治していた、これで治した。」

b. *zaq mucuʔl-aq ujik, lutfe q'-veci-ʔl-xc.* (自動詞)

NEG 苦しめる-NEG 自分.SG.ABS むしろ OPT.2-治す-ANTIP-OPT.2SG

「自分を苦しめるな、むしろ（病気を）治しなさい。」

3. その他のロシア語由来の動詞

第1節、第2節でロシア語から借用された動詞語幹を元にした動詞を見てきたが、本節では動詞以外のロシア語が元になったイテリメン語の動詞を扱う。

表3はロシア語名詞由来の動詞である。

表3. ロシア語名詞由来の動詞

ロシア語名詞	イテリメン語動詞	意味
tsvetok (цветок) 「花」	<i>swetka-te</i>	花が咲く、開花する
saʒa (сажа) 「すす」	<i>saʒa-te</i>	すすだらけになる
caj (чай) 「茶」	<i>caj-ʔa</i>	茶を飲む
mana (мама) 「ママ」	<i>mana-ʔl</i>	ママと呼ぶ
papa (папа) 「パパ」	<i>papa-ʔl</i>	パパと呼ぶ
sol' (соль) 「塩」	<i>sol'-aʔl</i>	塩をかける、塩漬けにする
plat (платок) 「スカーフ」	<i>plat-aʔl</i>	スカーフを巻く

swetka-te 「花が咲く」、*saza-te* 「すすだらけになる」はロシア語から借用された名詞に接尾辞 *-te* が付加されたものである。また、*mama-ʔ* 「ママと呼ぶ」、*solʔa-ʔ* 「塩をかける、塩漬けにする」など、ロシア語の名詞に接尾辞 *-ʔ* (*-ʔ* ~ *-eʔ* ~ *-aʔ*) が付加されて動詞になったものもある。*-te* や *-ʔ* による動詞の派生は、イテリメン語の名詞から動詞を派生する方法と同じである (*kox-te* 「石になる」 < *kox* 「石」、*sʔetl-eʔ* 「腱から糸を作る」 < *sʔetl* 「腱で作られた糸」)。 (8)に *caj-ʔa* 「茶を飲む」の例を挙げる。

- (8) *cajʔa-at-Ø-ez-iʔn*, *cajʔa-zo-at-Ø-ez-iʔn*, *samovar*
 茶を飲む-HAB-NDUR-PRES-3PL 茶を飲む-DUR-HAB-NDUR-PRES-3PL サモワール.SG.ABS
n-əntne-at-Ø-ez-nen.
 IND.3PL-空にする-HAB-NDUR-PRES-3>3SG

「彼らは茶をよく飲む。茶を飲み続けて、サモワールを空にする。」

なお *solʔ-aʔ* 「塩をかける、塩漬けにする」はロシア語の *solʔ* (со́ль) 「塩」に由来するが、自動詞としても他動詞としても使用される。(9a)は自動詞、(9b)は他動詞の例である。

- (9) a. *solʔ-aʔ-qzu-z-iʔn*, *solʔona* *n-sk-qzu-z-nen*. (自動詞)
 塩-VBLZ-DUR-PRES-3PL 魚の塩漬け.SG.ABS IND.3PL-作る-DUR-PRES-3>3SG
 「彼らは(魚を)塩漬けにする、魚の塩漬けを作る。」
 b. *itʃ* *solʔ* *iffo* *n-əzu-at-Ø-ez-nen*, (他動詞)
 3PL.ABS 塩.ABS もっと IND.3PL-置く-HAB-NDUR-PRES-3>3SG
n-solʔ-aʔ-at-Ø-ez-neʔn *ktcle-ʔn*.
 IND.3PL-塩-VBLZ-HAB-NDUR-PRES-3>3PL 発酵した魚の頭-PL.ABS

「彼らは塩をさらにかける、発酵した魚の頭に塩をかける。」

その他、ロシア語に由来する動詞を表4に挙げる。

表 4. ロシア語由来のその他の動詞

ロシア語	イテリメン語動詞	意味
spas'iba (спасибо) 「ありがとう」	<i>spas'iba</i>	感謝する
po-russki (по-русски) 「ロシア語で、ロシア風に」	<i>tepuruskiy</i>	ロシア語で話す
serdtse (сердце) 「心臓」	<i>sertse-sxəl</i>	心臓が痛い

spas'iba 「感謝する」はロシア語の *spas'ibo* (спасибо) 「ありがとう」の音形がそのまま動詞語幹になっている。*tepuruskiy* 「ロシア語で話す」はロシア語の *po-russki* (по-русски) 「ロシア語で、ロシア風に」という副詞に *te...-y* という接周辞が付加されている。*te...-y* はチュクチ語・コリヤーク語で「～を作る」を意味する語彙的接辞と同じ形態であるが(呉人 2001:82, Жукова 1972: 206)、イテリメン語ではこの動詞にのみ記録されている。*sertse-sxəl* 「心臓が痛い」(< *serdtse* (сердце) 「心臓」)の後部 *-sxəl* は、*nita-sxəl* 「心が痛む」(< *nita* 「心」) や *utu-sxəl* 「どうしてもできない」(< *utu* 「できない」) にも現れるが、生産的な接尾辞ではなく語彙的に限定されている。(10)に *spas'iba*、(11)に *tepuruskiy* の例を挙げる。

(10) *babu-cx* *li* *qeciq* *spas'iba-qzu-Ø-nen* *mil* *zinnin* *zunl-es*.
 婆さん-DIM.SG.ABS とても 十分に 礼を言う-DUR-PST-3>3SG 全ての 森の 生きる-NMLZ
 「おばあちゃんは全ての森の生き物に対して十分にお礼を言っていた。」

(11) *li* *pəlq* *t-tepuruskiy-a-Ø-s-k*.
 とても すごく IND.1SG-ロシア語で話す-DES-NDUR-PRES-1
 「私はすごくロシア語で話したい。」

4. ロシア語不定形の借用と補助動詞の共起

第2節、第3節でロシア語動詞語幹由来の動詞語幹を見たが、本節ではロシア語の動詞が不定形の形で借用され、イテリメン語の補助動詞と共に現れるケースを扱う²。その多くはロシア語他動詞不定形+補助動詞 *it* である。ロシア語不定形の語尾 *-t* (-ть) は軟音化(口蓋化)しているが、イテリメン語では口蓋化されず *-t* となる。

(12)では *ljubit* (< *l'ubit'* (любить) 「愛する」) というロシア語他動詞の不定形がイテリメン語の補助動詞 *it* の定動詞形(直説法継続相過去3人称単数主語3人称単数目的語)と共に表れている。

² 本稿の記述は北部方言のデータに基づいているが、南部方言でも同様にロシア語動詞の借用例、および不定形と補助動詞の構造が報告されている(Володин 1976: 105, Georg & Volodin 1999: 32, 57, Халоймова и Володин 2001)。

(12) *li ljubit Ø-it-qu-Ø-nen prirodu.*
 とても 愛する(RUS.INF) IND.3SG-AUX-DUR-PST-3>3SG 自然を(RUS.ACC)³
 「(彼女は) とても自然が好きだった。」

(13)は *napravljat* (< *pravljat'* (направлять) 「送る」) とともに用いられた補助動詞が受身形になっている例である。

(13) *qney v penzhinskij rajon napravljat n-it-qzu-Ø-ceʔn.*
 すぐに ペンジンスキー地区へ(RUS) 送る(RUS) PASS-AUX-DUR-PST-PASS.3PL
 「(彼らは) すぐにペンジンスキー地区へ派遣された。」

命令を表す場合は、(14)のように *it* が希求法 2 人称の形で現れる。

(14) *kimsx-e, prostit q'-it-um.*
 叔父さん-VOC 許す(RUS) OPT.2-AUX->1SG
 「叔父さん、私を許して下さい。」

(12)~(14)の例から明らかなように、ロシア語の他動詞不定形が動詞の語彙的意味を担い、法、人称・数、テンス、アスペクト、態の情報が補助動詞の定動詞形によって標示されるのである。このような他動詞の不定形+補助動詞の例は 21 例あった。他方自動詞の例は(15)、(16)の 2 例のみである。ロシア語が自動詞の場合はイテリメン語の補助動詞も自動詞 *!* で現れる。自動詞では(16)のように *-tsa* (-ться)の形 (他動詞の不定形 *-t* に再帰の接尾辞 *-sja* を付して自動詞化されたもの) も観察された。

(15) *k'-əsxli-kniʔn qsas-eʔn kliyle, sise-! zamaxat k-!-qzu-kneʔn,*
 AP-目覚める-AP.PL 雁-PL.ABS 夜に 翼-INST 振る(RUS) AP-AUX-DUR-AP.PL
k-sij-qzu-knaʔn.
 AP-飛ぶ-DUR-AP.PL
 「雁たちは夜に目を覚ました。翼を羽ばたかせ、飛んで行った。」

³ イテリメン語として定着した名詞であれば (ロシア語起由来であっても) 絶対格になるが、(12)ではロシア語の対格形で現れている。

(16) *qaʔt məzin elaq li qeciq osvoitsa nt-ʔ-qu-Ø-k.*

もう 1PL.POSS あたかも とても 十分に 習得する IND.1PL-AUX-DUR-PST-1

「もう私たちの(仲間)はあたかも十分に習得してしまったようだった。」

このようなロシア語動詞の不定形とイテリメン語補助動詞の組み合わせは、特にイテリメン語に対応する意味の動詞がない場合や、話者がイテリメン語の動詞をすぐに思いつかない場合などによく用いられる。

5. まとめ

本稿ではイテリメン語におけるロシア語由来の動詞について外観した。ロシア語の他動詞語幹をそのまま借用してイテリメン語の動詞語幹と同等の振る舞いをするもの(第1節)、それらに自動詞化する接尾辞 *-ʔ* を付加してイテリメン語の自動詞と同等の振る舞いをするもの(第2節)、そして第3節で動詞以外の名詞や副詞等から借用されたロシア語に由来する動詞を見た。

興味深いのは第4節で扱った、ロシア語の動詞が不定形そのままの形態でイテリメン語に借用され、法、人称・数、テンス、アスペクト、態といった文法カテゴリーを補助動詞が担うという構造である。このような構造で表される動詞と、イテリメン語と同等の地位を与えられる動詞にはどのような違いがあるのか。すでに昔から借用されてイテリメンの人々にとって親しみのある動詞が徐々にイテリメン語の動詞語幹として組み込まれていくのか、そしてそうでない新しいロシア語は不定形+補助動詞の構文として表現されるのかといった問題については、稿を改めて論じたい。

略号

1: 1人称	2: 2人称	3: 3人称	ABS: 絶対格	ACC: 対格
ANTIP: 逆受動	AP: 形動詞	AUX: 補助動詞	DAT: 与格	DES: 願望
DIM: 指小	DUR: 継続	HAB: 習慣	IND: 直説法	INDR: 間接話法
INF: 不定詞	INST: 具格	ITER: 反復	LOC: 場所(格)	NDUR: 非継続
NEG: 否定	NMLZ: 名詞化	OPT: 希求法	PASS: 受身	PL: 複数
POSS: 所有	PRES: 現在	PST: 過去	RUS: ロシア語	SG: 単数
VBLZ: 動詞化	VOC: 呼格			

参考文献

Georg, Stefan, Volodin, Alexander P. (1999), *Die itelmenische Sprache. Grammatik und Texte*. Wiesbaden: Harrassowitz.

Володин А. П. (1976), *Ительменский язык*. М-Л: Наука.

Жукова А. Н. (1972), *Грамматика корякского языка. Фонетика, морфология*. Л: Наука.

Халоймова К. Н., Володин А. П. (2001), *Ительменско-русский и русско-ительменский словарь. 2-е изд.* СПб: Просвещение.

小野智香子 (2016) 「イテリメン語の動詞の構造 –西部語北部方言の記述研究」 千葉大学学位論文

呉人徳司 (2001a) 「チュクチ語動詞派生形態論」 京都大学学位論文

(おの ちかこ・北海学園大学)

In this paper, some features of Itelmen (northern dialect, Chukotko-Kamchatkan) verbs from Russian loanwords are discussed. Itelmen loanverbs can be divided into four types: a) a loaned stem from a Russian transitive verb, b) intransitivization of a), c) a denominal or deadverbial verb, and d) a loan from a Russian infinitive form.

a) transitive verb: *risowa* < *risowa* (рисова-ть), *st'ira* < *stira* (стира-ть), *l'eci* < *leci* (лечи-ть)

b) intransitivization of a) : *risowa-ŋ*, *st'ira-ŋ*, *l'eci-ŋ*

c) denominal or deadverbial verb: *swetka-te* < *tsvetok* (цветок), *sol'-aŋ* < *sol'* (соль),
spas'iba < *spas'ibo* (спасибо), *teruruskiŋ* < *po-russki* (по-русски)

d) loan from Russian infinitive form: *lubit* < *ljubit'* (любить), *prost'it* < *prost'it'* (простить)

Sentences using type d) have the following structure: loaned infinitive form + Itelmen auxiliary verb. Namely, the loaned infinitive form carries the meaning of the verb, and the auxiliary verb indicates the grammatical category such as mood, tense, aspect, person, and number. Type d) has a different structure from types a), b), and c), where the loaned verb stems are conjugated according to their grammatical category.